

件名 **ふるさと歴史講演会** 12月11日(金) 愛宕地区まちづくり協議会設立準備会

「愛宕地区まちづくり協議会設立準備会」では、この度「ふるさとを愛する心を育む」ことを旨に、岩国徴古館の松岡智訓学芸員を講師にお招きし「愛宕歴史アラカルト」と題し歴史講演会を開催しました。

1867年(明治の直前)発行の古地図を示され、享保増補村記(1668)や玖珂郡志(1802)などの古文書などの記述をもとに愛宕の地名の成り立ちから始まり、今住んでいる牛野谷、門前、尾津の三つの村の由来など興味深い講話を頂きました。女性を含め70名近くの来場者は、松岡さんのお話に釘づけにされ聞き入っておられました。次回の講話や歴史散歩など新たな取り組みが期待されます。

<一例>

○愛宕神社・・・京都の愛宕神社が分祀されたもので全国に900近くあり、防火の神様。創建:1730(享保15年)

○喜楽寺の伝承・・・門前の地名のルーツでもある。喜楽寺の門前村(15世紀ごろ)

○尾津の由来・・・門前川の川尻に発達した洲がもとになり尾洲からと言われている。

○開作の始まり・・・1811年(南蛮樋門の構造)

